



民間セクターおよび政府(NLC)による籾買取りを継続!

成果 1: 栽培技術



<マリアナでのFFSワークショップ>

1. Farmers Field School (FFS) 乾期作

ブルトとマリアナI灌漑地域の農業普及員と共に、病害虫防除と種子生産に関する第4回目のFFSワークショップを実施し、ブルトで23名、マリアナIで60名の計83名が参加した。ワークショップでは、農薬の散布方法に関し農業普及員が参加農家に対して積極的に指導した。

2. 播種後50日目の生育調査

ブルトのFFS対象農家23名中22名、マリアナIの全対象農家60名に対する播種後50日目の生育調査を行った。ブルトで、主にカメムシやニカメイチュウによる害虫被害が見られたが、概ね防除できている。



<ブルトでの生育調査>

成果 2: 灌漑管理



<ブルトでの農家台帳作成>

1. 現状把握調査

ブルトとマリアナIの両灌漑地域での現状を理解するための、合計280名(ブルト117名、マリアナI163名)の灌漑関係者に対するインタビュー調査が終了した。この調査の結果、水利組合の活動に欠かせない“農家の参加”が、両灌漑地域において十分に果たされていないことが確認された。今後プロジェクトでは、この点を強化すべく支援を行っていく。

2. 農家台帳作成 (Farmers Register List: FRL)

ブルトでの農家台帳作りは終盤を迎え、また、マリアナでは継続作成中である。この農家台帳により、各灌漑地域での地主人数、耕作者人数、耕作面積を把握することができる。

3. 圃場地図

衛星画像を活用したブルトとマリアナIの灌漑受益地域の圃場地図と圃場リストが作成された。更に、各圃場(筆)と耕作者を紐づける作業をまず試験的に行い、作業に係る人的投入や経費を算出する予定である。

成果 3: 物流と販売 (民間)



<コメ品質管理研修>

1. チャクブ農家組合およびアセルダ社のメンバーシップ

チャクブ組合とアセルダ社がメンバーシップ登録農家から籾を購入し、その代金の農家への支払い、また、チャクブ組合の精米と包装を継続支援した。

2. チャクブ農家組合の総会

チャクブ組合が8月11日に総会を開催し、出席農家に対して昨年の収支を報告し、また、新代表および5名の役員を選出することを支援した。

3. コメ品質管理研修

コメ品質管理の西野短期専門家が8月17日から27日の日程で、カウンターパートの農業水産省アグロコマース局の職員3名、ファーマーズマーケットのスタッフ3名、National Logistic Centerの職員14名に対して、コメ品質管理研修を実施した。研修参加者は、品質管理機材の使用方法や手選別方法を学んだ。

成果 4: 買取と配布 (政府)



<NLCマリアナ倉庫での籾買取り>

1. National Logistic Center (NLC)による籾買取り

NLCによる籾買取りを引き続き支援した。NLCは、8月末で時点で計466トンの籾を購入した。この買取り量は、マリアナI地域からの210トンに加え、マリアナI周辺地域から165トン、および他県(コバリマおよびエルメラ県)から搬入された91トンを含む量である。NLCのマリアナ倉庫スタッフによる買取りに係る事務作業をより効率化するため、プロジェクトはノートパソコンやプリンタやその他文房具を支援した。加えて、マリアナ倉庫の隙間から鳥が侵入し、保管してある籾が食われることを防ぐため、鳥の侵入を防ぐためのネットを設置した。

2. コメタスクフォース設立

第1回コメタスクフォース会議が8月24日に開催され、NLCによる籾買取り価格や農業水産省によるコメ生産に係る予算やコメに対する関税等について議論された。